

マガリケムシヒキ

澄川森林基地で落枝注意ポスターの野建て看板を作るに際して、作業台のコンパネをセットしたら、いきなりお尻で繋がったムシヒキアブが止まりました。シオヤアブよりかなり小型なので先ずはデジカメで撮影。これらムシヒキたちはよく似た外観でも種類は多いことを承知していますので、帰宅してじっくり同定することにし、作業に入りました。2017年7月18日9時51分のことでした。

帰宅して調べた結果、マガリケムシヒキと同定しました。マガリケとは曲がり毛のことで、右上の画像では確認できませんが、この虫は結構な毛むくじゃらでして、それらの毛が曲がっていることからの命名のようです。しかし同定の決め手は毛ではありませんで、脚先の色でした。ネットで見つけた毛が見える拡大写真をご覧ください。曲がった毛も確認



できますが、脛節から先の色が茶色になっています。これがこの虫の特徴なのでした。

大きさは14~23mm、出現は北海道では6~7月のようですが、分布は北海道、本州、四国、九州となっていて、島嶼についてはよくわかりません。本州以南では出現時期は5~10月と長くなっています。

ムシヒキたちは虫の世界での凶暴なハンターでして、捉えた虫を口吻で突き刺し麻痺物質を注入してから体液を吸い取るやり方なのです。このマガリケは自分より小型の虫を狙うようです。



この日作成した落枝注意ポスター看板は児童たちの立ち入る歩道沿いに10カ所設置されました。